ひとつまみの幸せ。

2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上場会社名　株式会社 なとり　　上場取引所　東
コード番号　2922　URL https://www.natori.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 名取　三郎
問合せ先責任者　(役職名) 取締役執行役員 経営企画部長兼経理部長　(氏名) 安宅　茂　TEL 03-5390-8111

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　2026年12月7日
決算補足説明資料作成の有無　：　有　(当社Webサイトに掲載)
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	23,593	△0.5	1,525	618.0	1,545	565.5	1,068	479.8
2026年3月期中間期	23,720	△1.0	212	△78.1	232	△76.9	184	△73.1

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　1,157百万円　(156.6%)　2026年3月期中間期　451百万円　(△26.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	84.94	―
2026年3月期中間期	14.65	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	43,747	28,671	65.5
2026年3月期	42,584	27,677	65.0

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　28,671百万円　2026年3月期　27,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	13.00	―	13.00	26.00
2027年3月期	―	15.00			
2027年3月期(予想)			―	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注) 2026年3月期第2四半期末配当金の内訳：普通配当12円00銭　創業88周年記念配当1円00銭
2026年3月期期末配当金の内訳：普通配当12円00銭　創業88周年記念配当1円00銭

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,900	0.6	2,150	13.7	2,180	13.0	1,460	8.7	116.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注) 詳細は、[添付資料] P.10「2．中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(注) 詳細は、[添付資料] P.10「2．中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	15,032,209 株	2026年3月期	15,032,209 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	2,449,756 株	2026年3月期	2,449,756 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	12,582,453 株	2026年3月期中間期	12,582,540 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P.4「1．経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 10
（会計方針の変更） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間において当社グループは、売上面では、お酒のおつまみ用途だけでなくおやつ需要にも適した新製品の導入と市場定着を図りながら、発売20周年を迎えた「一度は食べていただきたい」シリーズをはじめとした主力製品の販売促進策等に引き続き取り組みましたが、お客様の節約志向の高まりと、価格改定による いか製品等の販売数量減の影響を吸収するまでには至らず、減収となりました。利益面では、いか原料を中心とする原料価格の更なる値上がり影響に加え、中東情勢の悪化に伴う包装材料やエネルギー価格の上昇、人件費などの増加もありましたが、価格改定の浸透や、原材料の産地・魚種などの変更、コストコントロールの徹底、プロダクトミックスの改善等の諸施策を講じたことで、大幅な増益となりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高235億93百万円（前年同中間期比0.5%減）、営業利益15億25百万円（同618.0%増）、経常利益15億45百万円（同565.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益10億68百万円（同479.8%増）となりました。

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）		当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売　上　高	23,720	100.0	23,593	100.0	△127	△0.5
売上総利益	4,478	18.9	5,838	24.7	1,360	30.4
販売費及び一般管理費	4,266	18.0	4,313	18.2	47	1.1
営業利益	212	0.9	1,525	6.5	1,312	618.0
経常利益	232	1.0	1,545	6.6	1,313	565.5
親会社株主に帰属する中間純利益	184	0.8	1,068	4.5	884	479.8

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記のとおりであります。

区分		前中間連結会計期間（自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）		当中間連結会計期間（自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
食品製造販売事業	水産加工製品	9,711	40.9	9,269	39.3	△441	△4.5
	畜肉加工製品	4,271	18.0	4,053	17.2	△217	△5.1
	酪農加工製品	4,331	18.3	4,913	20.8	582	13.4
	農産加工製品	1,111	4.7	1,178	5.0	66	6.0
	ポケット菓子製品※	1,464	6.2	1,294	5.5	△170	△11.6
	チルド製品	993	4.2	1,021	4.3	27	2.8
	その他製品	1,623	6.8	1,640	7.0	17	1.1
	計	23,505	99.1	23,371	99.1	△134	△0.6
不動産賃貸事業計		214	0.9	221	0.9	7	3.3
売上高合計		23,720	100.0	23,593	100.0	△127	△0.5

※区分名「ポケット菓子製品」は、2026年３月期 第３四半期決算まで「素材菓子製品」という名称でありました。

（食品製造販売事業）

製品群別の売上高（上記表）の内訳は、下記の通りであります。

『水産加工製品』耳からゲソまで色々なおいしさが楽しめる新製品「ちぎって楽しむ するめの時間」や、スティックタイプの揚物製品「うまいか」、カラッと揚げてサクッと食感に仕上げた「いかフライ」、駄菓子の新製品「カツ王」シリーズ、魚のすり身を薄く伸ばしふんわりと焼き上げた「お徳用味付焼きかまぼこ」などが売上を伸ばしましたが、いか製品の販売数量が減少した影響をすべて取り戻すまでには至らず、減収となりました。

『畜肉加工製品』ドライソーセージ製品では「一度は食べていただきたい 粗挽きサラミ」や「一度は食べていただきたい おいしいサラミ」、ジャーキー製品では軽い食感で様々な食シーンにマッチする新製品「うす切りポークジャーキー」などが伸長しましたが、厚切りタイプのジャーキー製品等の売上が減少し減収となりました。

『酪農加工製品』ボリュームたっぷりの「チータラ® お徳用」シリーズや、「一度は食べていただきたい 贅沢なチーズ鱈®」、おやつにちょうどいいポーションタイプの新製品「チータラ® ミニ」などが売上を伸ばし、大幅な増収となりました。

『農産加工製品』食べきりサイズのナッツ製品「JOLLY PACK」シリーズなどの売上が伸長し、増収となりました。

『ポケット菓子製品』食べやすい種ぬきほし梅に岩塩をまとわせた期間限定品「塩ほし梅」などが売上を伸ばしましたが、前期に猛暑の影響で梅製品が伸長した反動もあり減収となりました。

『チルド製品』カルビー株式会社とコラボレーションしたフレーバーの期間限定品「なめらかチータラ® ピザポテト® の風味」などが伸長し、増収となりました。

『その他製品』こだわり商品を詰め合わせた「おつまみセレクション」など、プレミアムタイプのアソート製品の売上が増加し、増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は233億71百万円（前年同中間期比0.6%減）、営業利益は13億76百万円（同2,162.6%増）となりました。

（不動産賃貸事業）

売上高は２億21百万円（同3.3%増）、営業利益は１億48百万円（同2.3%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、437億47百万円（前連結会計年度末比11億63百万円増）となりました。その主な内訳は、下記の通りであります。

「資産の部」では、売掛金が４億23百万円減少しましたが、現金及び預金が13億48百万円増加、原材料及び貯蔵品が４億62百万円増加しました。原材料及び貯蔵品の増加は、年末の繁忙期に向けて原材料等の在庫を積み増したためです。

「負債の部」では、未払金が２億75百万円減少しましたが、買掛金が４億18百万円増加しました。買掛金の増加は、上述の通り在庫を積み増したためです。結果、負債は150億76百万円（同１億68百万円増）となりました。

「純資産の部」では、配当金の支払いはありましたが、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が９億５百万円増加しました。結果、純資産は286億71百万円（同９億94百万円増）となりました。

以上を受けて自己資本比率は、前連結会計年度末比0.5ポイント増加の65.5%となっております。

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、55億63百万円（前連結会計年度末比13億48百万円増）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、21億72百万円の収入（前年同中間期は６億46百万円の収入）となりました。棚卸資産の増加額が３億29百万円あった一方で、税金等調整前中間純利益が15億51百万円、減価償却費が５億61百万円、売上債権の減少額が４億24百万円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、２億66百万円の支出（同２億65百万円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出が２億46百万円あったこと等によるものです。

この結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは19億５百万円の収入（同３億81百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、５億57百万円の支出（同５億88百万円の支出）となりました。借入金、ファイナンス・リース債務の返済による支出が３億93百万円あったこと等によるものです。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2025年３月期 中間連結会計期間	2026年３月期 中間連結会計期間	2027年３月期 中間連結会計期間
自己資本比率（%）	62.2	63.8	65.5
時価ベースの自己資本比率（%）	65.0	60.6	56.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	―	798.2	213.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	―	28.2	72.7

（注）自己資本比率：自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い
※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しています。
※「－」表示は、値がマイナスであることを表しています。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績予想につきましては、2026年５月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,606,314	5,954,358
売掛金	8,826,688	8,403,192
電子記録債権	22,136	21,042
商品及び製品	1,749,484	1,710,502
仕掛品	1,019,771	926,466
原材料及び貯蔵品	4,960,407	5,422,461
その他	335,643	403,096
貸倒引当金	△161	△168
流動資産合計	21,520,285	22,840,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,162,173	8,004,932
土地	6,878,285	6,878,285
その他（純額）	1,624,231	1,544,664
有形固定資産合計	16,664,690	16,427,882
無形固定資産	930,386	875,712
投資その他の資産	3,469,468	3,603,453
固定資産合計	21,064,545	20,907,048
資産合計	42,584,830	43,747,999

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,183,936	4,602,038
短期借入金	2,545,000	2,545,000
1年内返済予定の長期借入金	270,020	117,600
未払法人税等	317,955	508,641
賞与引当金	355,912	605,922
役員賞与引当金	38,200	18,750
その他	3,630,985	3,160,400
流動負債合計	11,342,009	11,558,352
固定負債		
長期借入金	898,060	842,500
役員退職慰労引当金	753,347	771,472
退職給付に係る負債	654,657	664,078
資産除去債務	5,825	5,825
その他	1,253,310	1,233,862
固定負債合計	3,565,200	3,517,738
負債合計	14,907,209	15,076,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	24,107,735	25,012,951
自己株式	△2,096,662	△2,096,662
株主資本合計	26,277,121	27,182,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,308,763	1,405,014
退職給付に係る調整累計額	91,736	84,555
その他の包括利益累計額合計	1,400,499	1,489,570
純資産合計	27,677,620	28,671,908
負債純資産合計	42,584,830	43,747,999

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	23,720,590	23,593,564
売上原価	19,242,073	17,754,941
売上総利益	4,478,517	5,838,622
販売費及び一般管理費	4,266,114	4,313,607
営業利益	212,403	1,525,015
営業外収益		
受取配当金	28,500	33,138
受取賃貸料	12,585	11,987
その他	17,181	19,292
営業外収益合計	58,266	64,418
営業外費用		
支払利息	26,407	31,394
賃貸費用	11,782	12,040
その他	217	191
営業外費用合計	38,407	43,627
経常利益	232,262	1,545,806
特別利益		
固定資産売却益	75,957	681
投資有価証券売却益	5,210	12
ゴルフ会員権売却益	－	5,011
特別利益合計	81,167	5,705
特別損失		
固定資産除却損	10,425	175
特別損失合計	10,425	175
税金等調整前中間純利益	303,004	1,551,336
法人税等	118,675	482,548
中間純利益	184,328	1,068,788
親会社株主に帰属する中間純利益	184,328	1,068,788

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	184,328	1,068,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	271,246	96,251
退職給付に係る調整額	△4,303	△7,180
その他の包括利益合計	266,943	89,070
中間包括利益	451,271	1,157,859
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	451,271	1,157,859
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	303,004	1,551,336
減価償却費	564,366	561,387
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△14	△221
賞与引当金の増減額（△は減少）	266,270	250,010
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△19,000	△19,450
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	15,750	18,125
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△17,406	△1,060
受取利息及び受取配当金	△28,897	△33,840
支払利息	26,407	31,394
固定資産売却損益（△は益）	△75,957	△681
固定資産除却損	10,425	175
投資有価証券売却損益（△は益）	△5,210	△12
ゴルフ会員権売却損益（△は益）	－	△5,011
売上債権の増減額（△は増加）	631,757	424,838
棚卸資産の増減額（△は増加）	△399,082	△329,767
仕入債務の増減額（△は減少）	△38,574	395,418
未払消費税等の増減額（△は減少）	222,865	△66,782
その他	△514,420	△327,650
小計	942,284	2,448,207
利息及び配当金の受取額	28,724	33,830
利息の支払額	△22,925	△29,884
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△302,009	△280,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	646,073	2,172,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	－
有形固定資産の取得による支出	△204,828	△246,764
有形固定資産の売却による収入	107,012	681
無形固定資産の取得による支出	△55,966	△10,205
投資有価証券の取得による支出	△17,425	△18,310
投資有価証券の売却による収入	6,340	45
ゴルフ会員権の売却による収入	－	7,936
その他	△159	△171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,028	△266,789
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△235,060	△207,980
自己株式の取得による支出	△200	－
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△202,216	△185,597
配当金の支払額	△150,978	△163,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△588,455	△557,187
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△207,410	1,348,044
現金及び現金同等物の期首残高	4,218,966	4,215,279
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,011,555	5,563,323

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

「期中財務諸表に関する会計基準」等の適用

「期中財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第37号　2025年10月16日）及び、「期中財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第34号　2025年10月16日）を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、中間連結財務諸表への影響はありません。